

★梅の購入について

5月中旬から小梅・織姫の販売が始まり、5月下旬には梅酒・梅ジュースに向いている「白加賀」の販売、6月上旬には、越生ブランド「越生べに梅」の販売も始まります。下記の直売所では、多くの農家さんが出荷しますので、ぜひ梅農家さんが丹精を込めて作った梅をご堪能ください。

○うめその 梅の駅
(越生自然休養村センター)



住所 越生町小杉 308-1
電話 049-292-3100
時間 午前9時30分～午後4時30分

○越生町観光案内所
「OTIC」



住所 越生町越生 790
電話 049-292-6783
時間 午前9時～午後5時

○JAいるま野
越生農産物直売所



住所 越生町西和田 45-1
電話 049-292-7382
時間 午前9時～午後5時

～第17回梅フェアの開催について～

主催 JAいるま野越生支店梅部会・越生町
日時 6月9日(日) 午前9時30分～午後3時 ※雨天決行
場所 うめその梅の駅(越生自然休養村センター)
駐車場 越生梅林駐車場(駐車場⇄フェア会場町バスで送迎)
内容 ①生梅の販売
②JA直売部会による地場産野菜販売
③模擬店
※内容は変更となる場合がございます。

★第17回梅フェア出店者の募集について

第17回梅フェアの出店者を募集します!
出店を希望される団体は、「第17回梅フェア出店者募集要領」及び「梅フェア模擬店出店要綱」をご確認の上、出店申込書及び従事者名簿を越生町役場産業観光課農林担当までご提出ください。
なお、募集要領等の各様式は、役場ホームページ及び産業観光課窓口で配布しております。
募集締切 5月9日(木)



農林業関係の各種補助金について

・アライグマの捕獲器購入

対象: 狩猟免許(わな猟)有資格者または越生町発行の埼玉県アライグマ防除実施計画に基づく従事者証の所有者
内容: 捕獲器1台につき3,000円未満(購入費用が3,000円未満の場合は当該購入費)

・イノシシ・シカ被害防止設置

対象: イノシシ・シカ被害が著しい農家
内容: 電気柵・ワイヤーメッシュ柵・シカ用ネット柵の設置費用の2分の1以内で、最大3万円

・果樹の苗木購入

対象: 町内に住所を有する農家
内容: 苗木の購入に要した費用の2分の1以内(べに梅は3分の2以内)で、最大2万円

・農業用ビニールハウス設置

対象: 町内に住所を有する農家、営農集団
内容: 農業用ビニールハウス設置費用に含まれる材料費に対して、面積が45㎡以上70㎡未満の場合は材料費の2分の1以内
70㎡以上の場合は材料費の3分の2以内とし、最大25万円

・梅収穫簡素化ネット設置費の補助金

内容: 梅の収穫を簡素化するためのネットの設置費用の2分の1以内で、最大3万円
対象: 補助の交付対象となる方は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、町税等を滞納していない方とする。
①町内に住所を有し、経営耕地面積10アール以上を町内で営む方
②町内に住所を有し、前年中の農業収入が15万円以上あった方
③町内に住所を有するいるま地域明日の農業担い手育成塾研修生

・一般造林事業(間伐・下刈・枝打)

対象: 山林の所有者
内容: 間伐・下刈・枝打で、町の定める実施基準額の2分の1以内
※補助基準などは問へお問い合わせください。

産業観光課 農林担当 ☎内線 143・144

- 梅日和 -

第4回 梅農家の年間作業について

梅農家は、夏の暑い時期に行う草刈りや冬の寒い時期に行う剪定作業など、年間を通じて様々な作業を絶え間なく行い、毎年、丹精を込めて「越生の梅」としての品質を守りながら梅を栽培しています。今回は、丹精を込めて梅を栽培している越生町の梅農家の年間作業について紹介します。

○年間作業内容の時期と説明

作業内容	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
①消毒	■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■		
②施肥	■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■		
③草刈り	■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■		
④収穫	■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■		
⑤剪定	■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■		
⑥苗木の植え付け	■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■		
⑦苗木作成	■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■			■		

- ①消毒 梅の品質管理や、アブラムシや特定外来生物クビアカツヤカミキリなどの病害虫から梅を守るために消毒を行います。
- ②施肥 施肥とは、野菜や果樹に栄養を与えるために、肥料をあげることを言います。梅の実がなる前に肥料をあげる「実肥」、梅収穫が終わった後に肥料をあげる「お礼肥」、土づくりを兼ねて有機肥料あげる「元肥」など、時期により肥料をあげる意味合いが変わってきます。
- ③草刈り 収穫前には収穫しやすいように草刈りを行い、収穫後には夏の消毒や剪定をしやすいように草刈りを行います。
- ④収穫 5月中旬から小梅・織姫の収穫が始まり、5月下旬から白加賀、6月上旬に越生べに梅、6月下旬に南高梅と梅の種類によって収穫時期が異なるため1か月半にわたり収穫されます。梅の実に傷がつかないように、一粒ずつ大事に手もぎで収穫します。
- ⑤剪定 ことわざ「桜伐る馬鹿 梅伐らぬ馬鹿」とあるように、梅は無駄な枝を切らないと樹形が崩れ、良い花や実がつかなくなってしまいます。来年の収穫量にかかわる大切な作業であり、経験を必要とする難しい作業であるため、時間をかけて行います。
- ⑥苗木の植え付け 11月頃から梅が休眠期に入る時期が良いとされています。
- ⑦苗木作成 梅は種から苗木を育てても親と同じ性質にはならないため、接ぎ木という方法で苗木の作成を行います。接ぎ木とは、種から育てた梅に性質の良い梅の枝を接合して、苗木を作る方法のことを言います。